

(屋外用)

LEDサインスポット用電源収納ボックス

品番	適合電源ユニット
NNY28489	NNY28125LE9 NNY28126LE9
	NNY28127LE9 NNY28128LE9

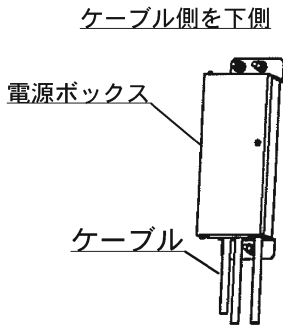
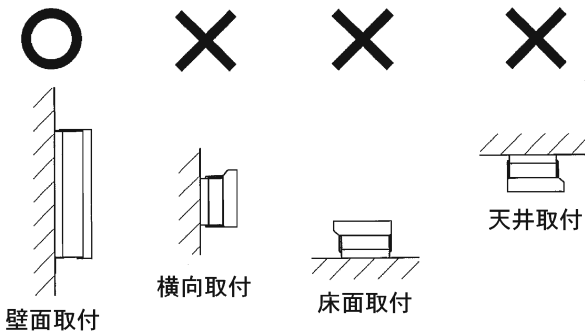
・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

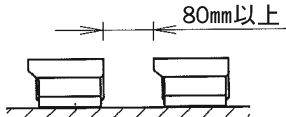
警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の改造、及び構成部品の交換をしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 一般屋外用電源ボックスです。浴室など湿気の多い場所、振動や衝撃の多い場所（橋や高架上等）、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地帯、塩素を使用する屋内プール、粉塵の多い場所などでは使用しない。器具落下や絶縁不良による感電・火災の原因となります。
- 壁面取付専用器具です。天井取付、床面取付、横向取付、天地逆取付はしない。落下の原因となります。
- 落下防止用パイプは必ず取り付ける。落下の原因となります。
- ケーブル側を必ず下側に向けて取り付ける。感電の原因となります。
- 電源電線の接続は確実にを行う。接続に不備があると感電・火災の原因となります。
- 口出し線との接続はスリーブなどにより確実に行い、自己融着テープを巻いてから、絶縁テープを巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をする。又、活線作業をしない。接続に不備があると感電・火災の原因となります。
- 単線とより線は直接接続（ねじり接続など）しない。必ず専用工具で圧着する。接続に不備があると感電・火災の原因となります。
- 丸型ケーブルはCV又は2PNCTの電線を使用する。適合丸型ケーブル径はφ10.6～φ13 mmです。指定外ケーブルを使用すると、感電・火災の原因となります。



注意

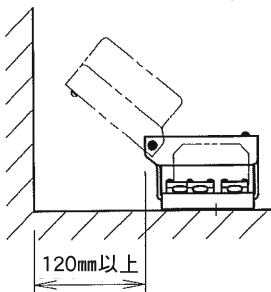
- 密集取り付けしないでください。過熱による火災の原因となります。
- 取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。



施工上のご注意

- ・施工時、壁面から120mm以上必要です。蓋の開閉のため、取り付けできない原因となります。
- ・管灯回路の延長制限があります。（15m以内）この長さを超えますと灯具ユニットが点灯しない場合があります。
- ・適合の電源ユニットの注意事項については、電源ユニットの説明書をご確認ください。

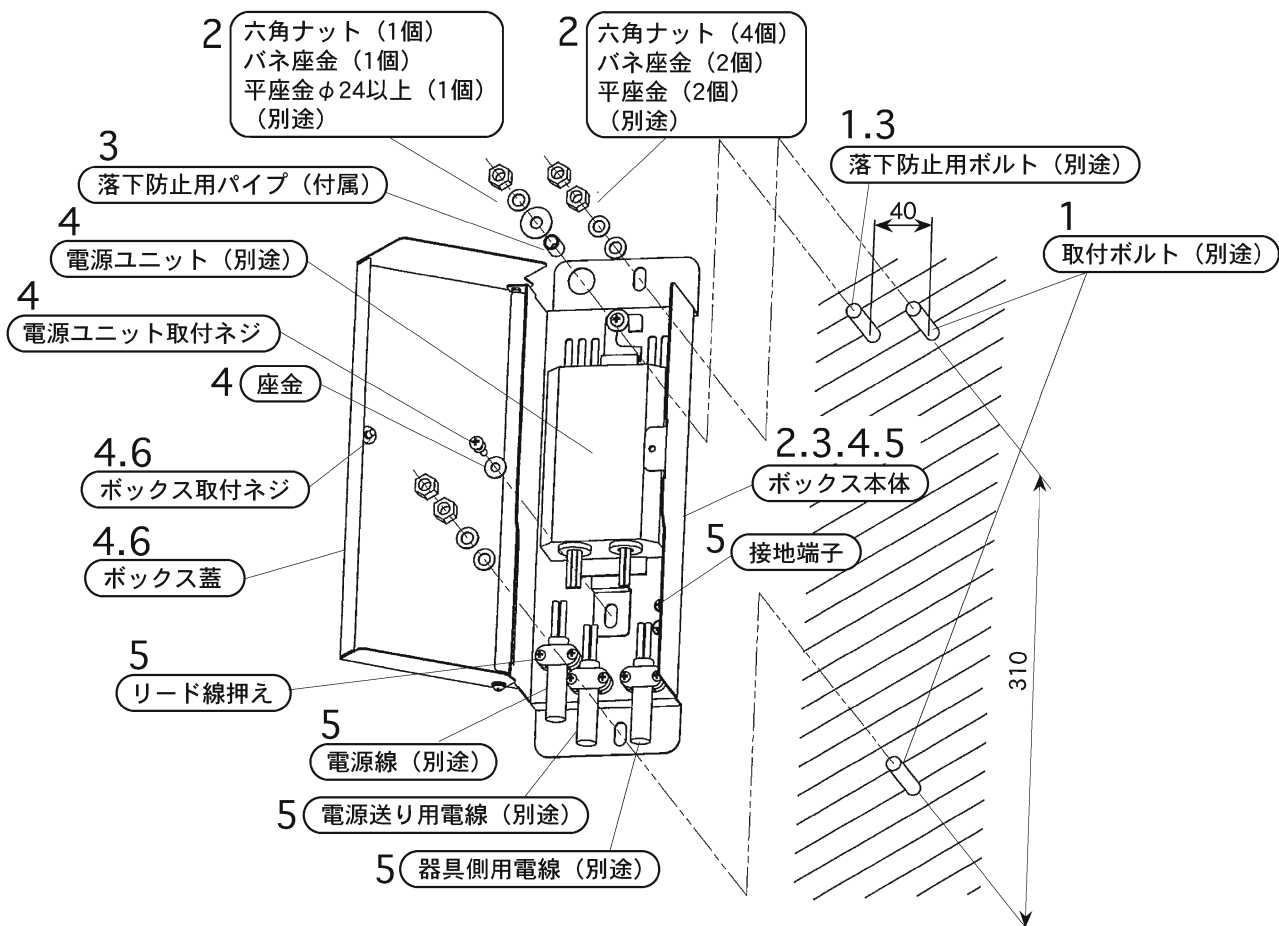
〈下部方向からの図〉



警告

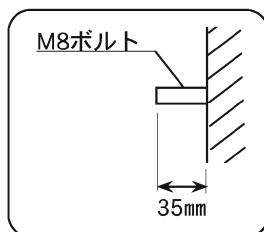
- 施工は取扱説明書に従い、確実に行う。施工に不備があると、落下・感電・火災の原因となります。
- 活線作業をしない。接続に不備があると、漏電・感電・火災の原因になります。

・器具の取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用してください。
けがのおそれがあります。



1 取付前の確認を行う

- ・M8ボルト (別途) を用意してください。
取付ボルト (2本)、落下防止用ボルト (1本)
不備があると、落下・感電の原因となります。

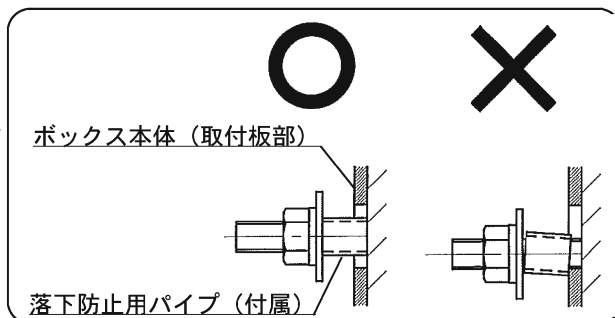


2 ボックス本体を取り付ける

- ・ボックス本体の固定 (2箇所) は平座金 (別途)、ばね座金 (別途)、六角ナット (別途) を使用し、
取付ボルト (M8、別途) にダブルナットにて確実に締め付けてください。
(推奨締め付トルク: 18N・m)
不備がありますと落下の原因となります。

3 落下防止用パイプを取り付ける

- ・落下防止用パイプ (付属) を落下防止用ボルト (別途) に通し、
ボックス本体にはまるように取り付け、平座金φ24以上 (別途)、
ばね座金 (別途)、六角ナット (別途) を使用し、
落下防止用ボルト (M8、別途) に確実に締め付けてください。
(推奨締め付トルク: 18N・m)
不備がありますと落下の原因となります。

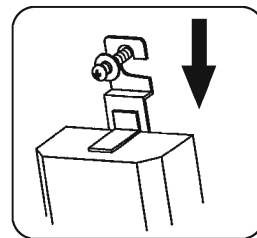


4 電源ユニット（別途）を取り付ける

- ・ボックス蓋のボックス取付ネジ（M4）をゆるめて、ボックス蓋を開ける。
- ・ボックス本体に付属している電源ユニット取付ネジ（M5：平座金、バネ座金付）を使用して、電源ユニットの金具を引っ掛けてください。
- ・電源ユニットのセット後、上下の電源ユニット取付ネジを確実に締め付けてください。

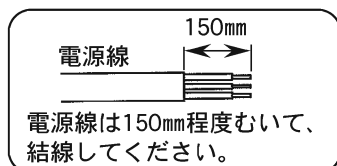
（推奨締め付トルク：2.1N・m）

不備がありますと落下の原因となります。



5 電源線・アース線を接続する

- ・電源線（別途）、器具側電線（別途）、及び送り用電源線（別途、※送り配線の場合）の外装シースを約150mm剥き、ボックス本体付属のリード線押えで固定してください。



- ・電線線はCV又は2PNCTの3芯丸形ケーブル（φ10.6～φ13.0mm）をご使用ください。
- ・電源線は必ずシース部をリード線押えで確実に固定してください。ケーブルの押え量はケーブルの1/4程度としてください。
- ・接続後の絶縁、防水処理（自己融着テープ）を確実に行う。
- ・接地端子を使用して、D種（第3種）接地工事を行ってください。

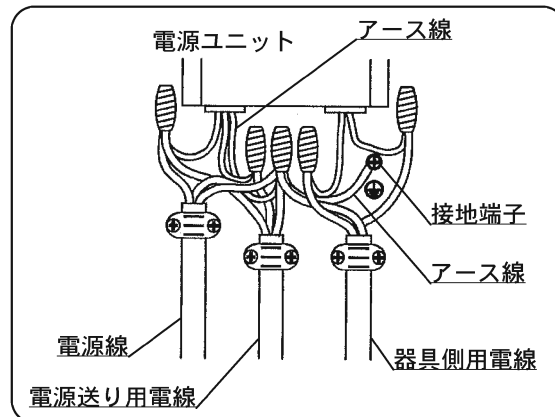
接地が不完全な場合、感電の原因となります。

- ・口出し線との接続は、電気設備技術基準の省令第7条、及び同解釈第12条に従うこと。

電源ユニット口出し線の線種：架橋ポリエチレン絶縁電線

口出し線の線径：0.75mm²

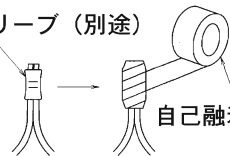
アース線の線径：1.25mm²



警告

接続、保護が不完全な場合、
感電・火災の原因となります。

スリーブ（別途）



自己融着テープ（別途）巻き付け後、絶縁テープ（別途）

6 ボックス蓋を閉める

- ・ボックス本体内の線を確実に収納し、噛み込まないようにボックス蓋を閉め、ボックス取付ネジを確実に締め付けてください。

（推奨締め付トルク：0.6N・m）

締め付けが不完全な場合、感電・火災の原因となります。

取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

- 器具の改造、及び構成部品の交換をしない。
落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。

⚠注意

- お手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分に冷えてから行ってください。
感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。
設置して10年(※1)経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けると、まれに落下・感電・火災に至る場合があります。

使用上のご注意

- ・初期、ボックスの切断端面部に赤錆が発生しますが、耐食性に問題ありません。
詳しくは別紙承認図「Zn-Al系合金メッキの特性について」を参照ください。(図番T4AA20120-K*)

保証について

- ・保証について……………この商品の保証期間は1年間です。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……………保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れ

- ・器具の清掃について……汚れを落とす場合は、石けん水に浸したやわらかい布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

⚠注意

- 感電のおそれあり。
お手入れ時は、必ず電源を切ってください。
- やけどの恐れあり。
点灯中や消灯直後は電源ユニットやその周辺をさわらないでください。